

Specialty Goods



なると金時



温暖で降雨量が少ない気候と、海のミネラルをたっぷり含んだ砂地で育ったなると金時は、食物繊維やビタミンCが豊富でヘルシーなサツマイモ。鮮やかな黄金色をしており、なると金時特有の食感と上品な甘みは絶品の味。

鳴門わかめ



鳴門の渦潮を生み出す激流にもまれ育ったわかめは、シロシロとした歯ごたえと風味の良さが特長。ビタミン、ミネラルがたっぷり含まれ、風味、色、歯ごたえのいずれも一級品。海通しすると光沢のある鮮やかな緑色の味。

藍染め



藍染めの深く鮮やかな青い色は、まさに世界に知られるジャパンブルー。藍染めとは、藍と呼ばれる植物を染料に使用して糸や布を染める染色法。染めた布は色があせにくいほか、冷え性、肌荒れなどに効果があるという説も。

れんこん



良質の粘土質の土壌で育った鳴門れんこんは、色白でシャキシャキと歯切れがよく、柔らかい口触りが特長。素材の味を楽しむる照り焼きやれんこんご飯、ひと手間加えたはさみ揚げや串揚げなどのメニューもお勧め。

すだち



徳島の特産品として全国的に知られるすだち。絞った果汁はもちろん、果皮をすり下ろして美味にしたりと、爽やかな香りと心地よい酸味は、和・洋・中華、どんな料理や飲み物とも相性が良く上品な風味を添えてくれる。

お土産店

なると物産館



特産の「れんこん」「わかめ」「なると金時」を使った商品や、名産のすだちを使用した菓子、地酒などが勢ぞろい。国の伝統工芸品「大谷焼」の茶碗や、伝統工芸の「藍染め」で染めた小物など、地元色豊かなお土産も。
住所：鳴門市撫養町南浜字東浜 165-10 うすしお会館 1階
電話：088-685-2992
営業：9:00～17:00
休日：年末年始

道の駅「第九の里」物産館



第一次世界大戦時に建てられた建物は、国登録の有形文化財。旧板東俘虜収容所の兵舎の一部を移築したもので、当時を彷彿とさせる。館内では地元で採れた新鮮な農産物を販売するほか、ドバイにもなんた食事を求める。
住所：鳴門市撫養町南浜字東浜 165-10
電話：088-689-1119
営業：9:00～17:00
休日：毎月第4月曜（祝日の場合は翌日）12/28～12/31

JF北灘さかな市



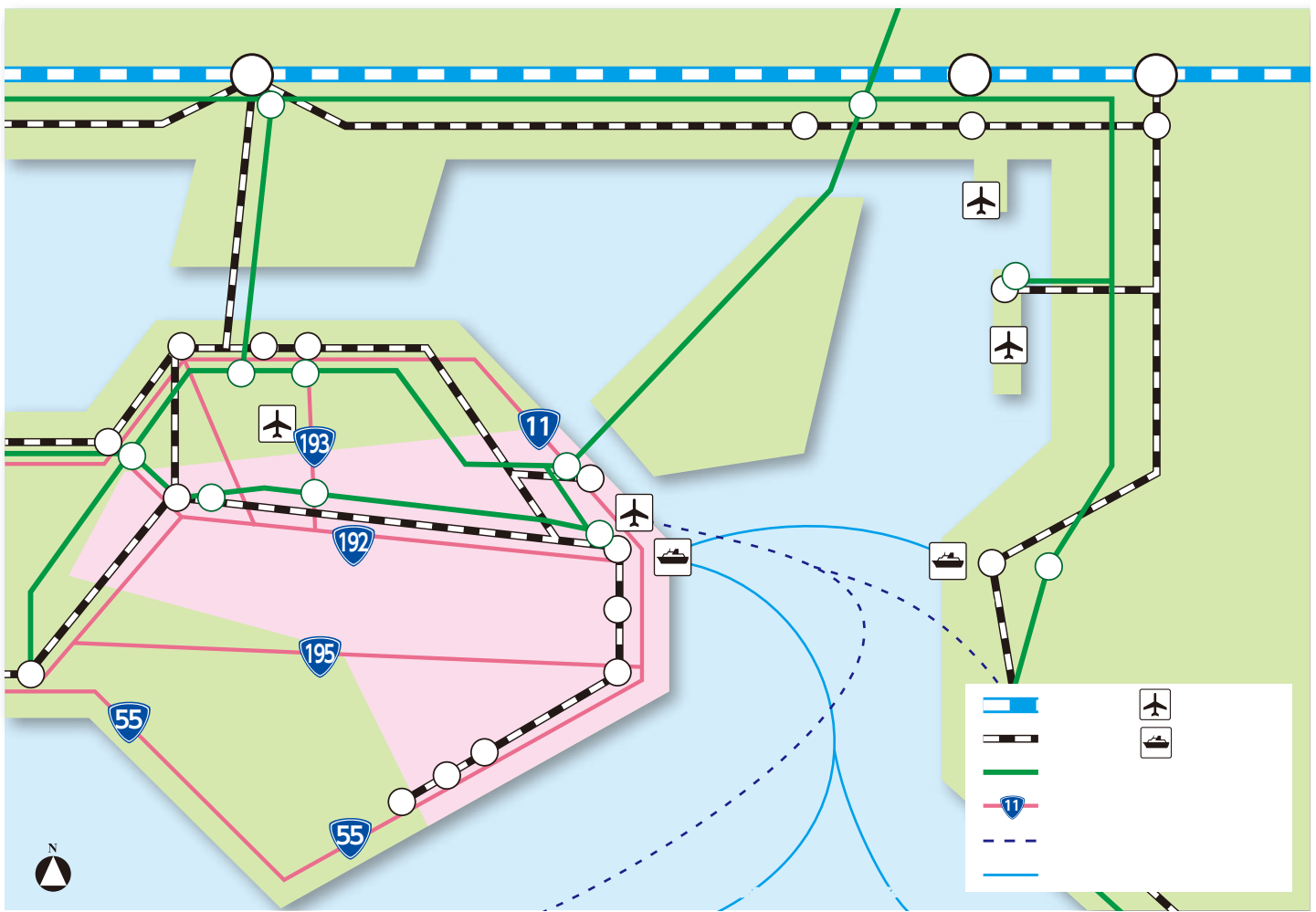
生簀の中で泳ぐ鮮魚が購入できる鮮魚コーナーから、漁師が手製の干物が並ぶ干物コーナー、地魚を使った惣菜やちらし寿司が並ぶ惣菜コーナーまで、漁協おススメの海産物が並ぶ。敷地内には海鮮料理を提供する食堂も。
住所：鳴門市北灘町宿毛谷字相ヶ谷 23
電話：088-683-8137
営業：8:30～17:00
休日：年中無休

Access to NARUTO



鳴門への所要時間

	出発地	所要時間
飛行機 徳島阿波おどり空港まで	東京(羽田)	約1時間15分
	福岡	約1時間
フェリー 徳島港まで	東京港(有明)	約19時間
	北九州(新門司港)	約14時間半
車 (レンタカー、高速バス) 鳴門市内まで	和歌山港	約2時間
	神戸	約1時間
	京都	約2時間
	大阪	約2時間
	岡山	約2時間
	広島	約3時間
	高松	約1時間
	松山	約2時間半
	高知	約2時間半



観光のお問い合わせはこちらまで

鳴門市観光情報センター

〒772-0011 鳴門市撫養町大桑字湊岩75-1
TEL:088-686-0743 (年中無休)

鳴門市観光振興課

〒772-8501 鳴門市撫養町南浜字東浜170
TEL:088-684-1157 FAX:088-684-1339
MAIL:kankoshinko@city.naruto.lg.jp

一般社団法人 鳴門市うずしお観光協会

〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜165-10
TEL:088-684-1731 / FAX:088-684-1732
MAIL:info@naruto-kankou.jp



NARUTO

~The Inland Sea, SETOUCHI~

Discover the Hidden Charms of West Japan



Naruto Gourmet

鳴門鯛



鳴門海峡の激しい潮流にもまれて育った鳴門鯛は、引き締まった身とともに桜色に輝く姿も美しい鯛の最高級ブランド。刺身でいただく「安づくり」や、鯛そのものの味わいを堪能できる「鯛めし」は、まさに至福の味。

「鳴ちゆる」うどん



鳴門の隠れた人気メニューと言えば、このうどん。黄金色の美しいだし汁に浮かぶふにゃふにゃの麺、その上にはふっくら仕上げた細切りのお揚げ。この3つが一体となって織り成す優しい味わいは、まさに鳴門のソウルフード。

徳島ラーメン



豚骨醤油スープに中細麺、豚バラ肉とネギ、モヤシ、生卵をトッピングしたもののが徳島ラーメンの王道。スープは見た目の色で、白系、茶系、黄系の3つの系統に分かれるが、それぞれまったく違ったおいしさがある。

鳴門の和菓子



地元特産の「なると金時」や阿波和三盆糖、わかめ、れんこんなどを使った、地元色豊かな和菓子は後を引くおいしさ。もっちり食感と小豆の豊かな味が特徴の「阿波ういろう」は、名古屋、山口と並ぶ日本三大ういろうの一つ。

鳴門の地酒



阿讃山脈の伏流水を仕込みに、酒造に適した米を使った純米酒や本醸造、吟醸酒などの日本酒が人気。ほかにも、これぞ地酒といえる鳴門特産の「なると金時」を使った芋焼酎や、徳島特産「すだち」を使ったすだち酒も。

梨



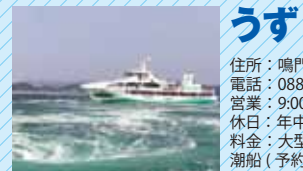
初秋の果物として人気の梨。現在は、「阿波梨」で知られた長十郎種に代わり、さわやかな甘さとみずみずしさが特長の「幸水」や「豊水」などの品種が主流。8月中旬から9月下旬まで梨狩りが楽しめる。



世界三大潮流「鳴門の渦潮」

Experience

渦潮の体験は…



うずしお観潮船

住所：鳴門市鳴門町（亀浦観光港）
電話：088-687-0101
営業：9:00～16:20
休日：年中無休
料金：大型観潮船 / 大人 1800 円、小人 900 円 水中観潮船（予約制） / 大人 2400 円、小人 1200 円



うずしお汽船

住所：鳴門市鳴門町（亀浦漁港）
電話：088-687-0613
営業：8:00～16:30
休日：年中無休
料金：大人 1550 円、小人 780 円

大鳴門橋遊歩道「渦の道」



大鳴門橋の橋げた内に設けられた全長 450m の遊歩道。心地よい潮風に吹かれながら、橋げたの構造を間近に見ることができ、先達の展望台にある方々の足から45m下の渦潮を覗けば、思わず足がすくむほどの迫力。
住所：鳴門市鳴門町（鳴門公園）
電話：088-683-6262（季節により変動有）
営業：9:00～18:00
休日：6・9・12・3月の第2月曜
料金：大人 510 円、中学生 250 円、小学生 250 円
割引：20 人以上団体割引有

大鳴門橋架橋記念館「エディ」



館内には渦潮と大鳴門橋に関する展示のほか、大きな渦を体験できるシスターや、大鳴門橋のトリックアートなどがある。1/30マの展望台にある方々の足から45m下の渦潮を覗けば、思わず足がすくむほどの迫力。
住所：鳴門市鳴門町（鳴門公園）
電話：088-687-1330
営業：9:00～17:00（季節により変動有）
休日：無休
料金：大人 610 円、中学生 410 円、小学生 250 円
割引：20 人以上団体割引有

エスカヒル鳴門



鳴門山展望台へ上る、高低差 34m、全長 68m の長い観光用エスカレーター。展望台から望む鳴門海峡とそこに架かる大鳴門橋の眺めはまさに絶景。天気がいれば、遠く和歌山や小豆島までを眺望できる。
住所：鳴門市鳴門町（鳴門公園）
電話：088-687-0222
営業：9:00～17:00（季節により変動有）
休日：12 月中旬の平日に 4 日間の休館有
料金：大人 400 円、小学生 100 円
割引：30 人以上団体割引有

大谷焼



江戸時代後期、大谷村の赤土で陶器を作ったのが大谷焼の始まり。焼成に使用される登り窯は日本一を誇り、それを用いて焼かれる大谷陶器は身の丈ほどになるものも。大谷陶器を焼くために建てられた登り窯は、独自の「登り窯」工法は大谷焼独特の伝統の技であり、国の伝統的工芸品に指定されている。
最近では、日常使いの湯飲みなども作られ、素朴な味わいが好評を博している。また、窯元では大谷焼の購入や、作陶行程の見学ができる。

鳴門市阿波おどり



阿波の夏の始まりを告げるように、県下のトップをきって盛大に開催されるのが鳴門市阿波おどり。期間中は連日、演舞場で阿波おどりが披露されるほか、誰でも気軽に参加できる「にわか連」が繰り出し、街中が阿波おどりの色に染まる。
開催場所：JR 鳴門駅西側特設演舞場他
開催期間：毎年 8 月 9 日・10 日・11 日
開催時間：19:00～22:00
問い合わせ：088-685-3748（鳴門阿波おどり実行委員会）

納涼花火大会



阿波おどりのシーズン到来を告げる納涼花火大会は、県下一の規模を誇る。撫養川沿いの打ち上げ場所は観覧場所に近く、間近に眺めるおどりの 5000 発の打ち上げ花火は迫力満点。大勢の見物客でにぎわいを見せる。
開催場所：鳴門市文化会館周辺（撫養川沿い）
開催期間：毎年 8 月 7 日
問い合わせ：088-685-3748（鳴門阿波おどり実行委員会）

Naruto Sightseeing

information

WEST 西

ドイツ橋

1



大塚比古神社近くにある紅葉の名所。丸山公園の小さな谷川に架かる長さ9.6mの石積みの橋。「板東俘虜収容所」に暮らしていたドイツ兵捕虜が、当時日本にはなかった石積みの技術を用いて地元住民のために造り上げた。
住所：鳴門市大塚町板東 問い合わせ088-684-1157（鳴門市観光振興課）

鳴門市には「うずしお」の他にも見どころいっぱい！歴史的な建造物から、自然の風景までたっぷりご紹介！

ドイツ館

2



1917年から20年までの3年間、大塚町の「板東俘虜収容所」で暮らしたドイツ兵捕虜と地元の人々との交流の様子を後世に伝えるために建てられた。映像、模型、ジオラマ、ロボットなどを通して楽しみながら見学できる。
住所：鳴門市大塚町板東字塚原 126
電話：088-689-1111
開館：7:30～17:00（納経印扱い時間）

四国霊場第一番札所 霊山寺



弘法大師が修業として行脚した四国八十八か所霊場の出発点となる寺で、約 1,300 年前に行基菩薩が開創したとされる。境内には美しい日本庭園や、願いを叶えてくれる観音像などがあり、一年中お遍路さんの姿が絶えない。
住所：鳴門市大塚町板東字塚原 126
電話：088-689-1111
開館：7:30～17:00（納経印扱い時間）

四国霊場第二番札所 極楽寺

4



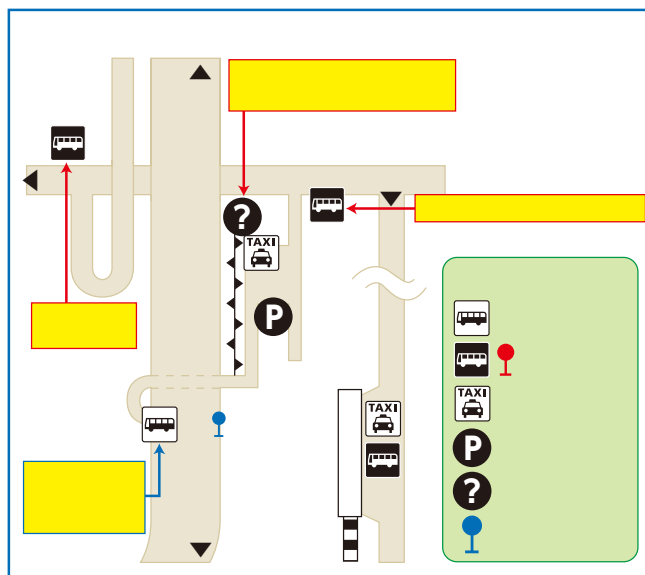
境内は三方を山に囲まれた閑静な佇まい。朱塗りの仁王門をくぐると極楽寺をイメージさせる庭園が広がる。石段上にある本堂右奥の大師堂には「安産大師」と呼ばれる大師像があり、安産祈願に霊験があるとされる。
住所：鳴門市大塚町板東字広塚 13
電話：088-689-1112
開館：7:00～17:00（納経印扱い時間）

大塚比古神社

5



「徳島県下一の社格を誇る大塚。木立に囲まれた境内は花厳な雰囲気包まれており、樹齢 1000 年とされるご神木の太極は、鳴門市の天然記念物に指定されている。参拝者の中には、四国遍路出発前に、旅の安全を祈願するお遍路さんの姿も見られる。」
住所：鳴門市大塚町板東字広塚 13
電話：088-689-1112
開館：6:00～17:00



ウチノ海

6



ウチノ海の北側を走る鳴門スカイラインからの眺めは表情豊か。スカイライン中ほどの四方見展望台からの眺めは、まさに360°の大パノラマ。ウチノ海の南側には、多様な楽しみ方ができる「ウチノ海総合公園」がある。
住所：鳴門市鳴門町高島字北679（鳴門ウチノ海総合公園）電話：088-687-3175 営業：6:00～22:00（施設により異なる） 休日：パークセンターは火曜（祝日の場合は翌日）、4月5日・9月～11月は火曜も営業、12月29日～1月3日は休

妙見山公園

8



妙見山の山頂周辺に整備された公園。園内には、鳴門市のシンボルである「トリーデナ」とあり、施設内の展望台からは鳴門市内が一望できる。公園は桜の名所として知られ、春ともなれば多くの花見客でにぎわう。
住所：鳴門市撫養町林崎 電話：088-684-1157（鳴門市観光振興課） 開館：毎週土曜日 祝日

花見山心の手紙館

7



鳴門海峡・大鳴門橋・波路島を一望するビュースポット。しだれ桜やツツジ、もみじ、黄桜、サザンカなど四季折々の花が楽しめる。同館では、来館者の希望に応じ、手紙を1～5年までの希望する年頃に宛先へ届けてくれる。
住所：鳴門市鳴門町土佐泊浦字大毛234-35 電話：088-687-3555 開館：10:00～16:00 休日：火曜、年末年始ほか 料金：入館無料

大塚国際美術館

9



古代から現代にいたる西洋美術史を代表する名画1000点余りを、陶板で原寸大に再現し展示する陶板名画美術館。約4kmに及ぶ鑑賞ルートには、レオナルド・ダ・ヴィンチやゴッホ、ピカソなどの名画を一堂に展示。
住所：鳴門市鳴門町（鳴門公園内）電話：088-687-3737 開館：9:30～17:00（入館16:00まで） 休日：月曜（祝日の場合は翌日）、その他特別休館あり 料金：一般3240円（前売3100円）、大学生2160円（前売2100円）、小中高生540円（前売520円）

鳴門市の観光スポットを動画でご覧いただけます。

スマホ
タブレット
から

「AR」を読み込んでイメージ動画を見よう！
★専用のアプリ「COCOAR2」をダウンロード
このマークのある画像をアプリを起動しスマホで読み込むと情報が表示されます！

まずは右記QRコードから無料アプリをダウンロード

1 マークのある対象となる画像を読み込んでスキャンすると…

2 ビolinと音が鳴ったら動画の再生がスタートします。

動画視聴期限 2017年10月30日まで